勢和小学校だより

発行日：令和5年7月20日　　第9号

子どもたちの頑張りが至るところに

1年2組と6年生が学級閉鎖となる中、5年生2人が司会進行役となって夏休み前の児童集会が開催されました。集会では、4年生トイレ見守り隊がトイレのスリッパについて訴えたり、体育委員会が安全な遊具の使い方などについて発表したりしました。

全員が揃っていない状況でも、5年生を中心に集会を開催できたことは、始業式にグーチョキパーで話した「グー：あきらめないで頑張ろう」そのものだったと思いました。

4月から7月を振り返ると、子どもたちの頑張りや魅力をたくさん感じました。

トイレのスリッパがあらぬ所にあったことから、なんとか改善したいと緊急全校集会を開催した6年生には多くの人たちが賛同し、「なんとかしたい」という目標を多くの子どもたちが共有することができました。これも「あきらめないで頑張ろう」です。

本校には、気軽に声をかける人がたくさんいて、「おはようございます」はもちろんのこと、昼間なら「こんにちは」と挨拶する人もいます。また、遠くから大きく手を振ってくる人もいて「パー：挨拶」で学校が明るく元気になっています。

からかいやいじり等、いわゆるいじめ事案は本校でも複数件認知していますが、4年生トイレのスリッパ隊のように、みんなの力になっている人がたくさんいて「チョキ：みんながニコニコできる学校」を築いています。

9月以降も、子どもたちによる学校づくりを進められるよう、子どもたちに寄り添いながら教育活動を進めていきます。

読書が共通の話題に

読書週間の定着を目指して

7月10日（月）から朝の読書週間が始まり、学校

では毎日8時20分から10分間は朝読の時間になっています。どのクラスでも子どもたち自ら選んだ本を手に取り、読書をしています。

今回紹介する3年生も、8時20分には既に着席し静かな教室で読書をしています。

地主　幸朔さんが読んでいるのは「注文の多い料理店」です。家にも同じような本があって興味を持ち読み始めたそうです。これまで読んだ本の中で特に覚えているものは5歳の頃に読んでいた「かいけつゾロリ」で、低学年の人にお勧めの本だそうです。

松本　理玖さんは、クラスメイトから「これ読んだら面白いよ。」と勧められた「慣用句教室」を朝読で読んでいます。ちびまる子ちゃんが慣用句を紹介していて楽しみながら覚えられそうです。

幸朔さんや理玖さんは家で妹さんに読み聞かせをすることがあるそうで、妹さんの「これ読んで。」のリクエストに応えて読み始めると、夢中になって聴いていると2人は話していました。

浦林　茜さんが読んでいるのは「100gのいのち」。野良猫などこれ以上捨ててほしくないと思い、選書したそうです。以前に一度読んだことがあったけれど、今回は読書感想文を書くために読んでいるとのこと。「幸せをつかんだ動物たち」というところを読むと、里親が見つかってよかったなと、うれしくなるそうです。

3人とも「前に一度読んでも半年くらい経つとリセットできるから、2回目も面白い。」と話していました。

お気に入りの音楽を繰り返し聴くように、お気に入りの本を読み返すことも心に元気を与えてくれることでしょう。

今回のインタビューから、子どもたち同士が日頃から本を勧め合っていることが分かりました。読書が共通の話題になると、「今度はこれを読んでみよう。」と読書好きが一気に加速します。

朝読の時間や読書の取組を通して、読書で人と人がつながり、人とのつながりで読書の世界が広がることを期待しています。

９月の主な予定

日	曜	児童の活動	日	曜	児童の活動
1	金	授業再開 PTA本部役員会 教育実習	22	金	運動会前日準備
4	月	給食開始、4限授業	23	土	秋分の日 運動会
5	火	4限授業	24	日	運動会予備日
13	水	4限授業　13:20下校	25	月	運動会の振替休業日
15	金	カウンセラー来校	29	金	カウンセラー来校　教育実習終了
18	月	敬老の日	30	土	運動会予備日